

ブラジル：ボトルの循環型活用のためのGS1活用

Coca-Cola Brazil

概要

- ▶ コカ・コーラ社は2022年後半に2030年までに全ブランドの飲料の少なくとも25%を詰め替えボトルまたはリターナブルボトルで販売する意向を発表した。
- ▶ コカ・コーラ・ラテンアメリカはさらに野心的な目標として2023年までにリターナブルボトルを40%にしている。
- ▶ リターナブルボトル（RefPETボトル）は最大25回の充填が可能で、その後は新しいPET樹脂にリサイクルされる。

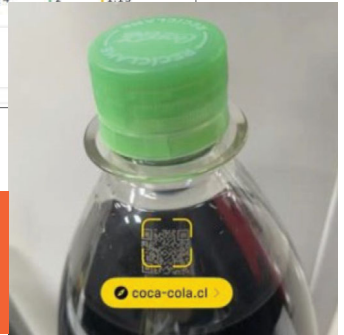
ポイント

- ▶ 上記目標の達成のためにはそのボトルの使用回数や耐久性を調査する必要があり、GS1識別コードの1種であるGRAI（リターナブル資産識別番号）が活用された。
- ▶ ボトルに直接刻印されたDigital Link QRからはシリアル化されたGRAIを読み取ることができる。
- ▶ QRコードからアクセスした先のダッシュボードにはボトルがいつ、どこで最初に製造・充填されたか、何回返品されたか、いつ、どこで再充填されたか、各サイクルの日数などの詳細も表示される。
- ▶ 持続可能性への活用だけでなく、販売やマーケティングなど、さまざまな面で活用価値がある。

ダッシュボードでのボトル使用履歴の表示



ボトルに直接刻印された
GS1 Digital Link QRコード



ブラジル

リターナブルボトル

- 調査中
- 導入済み
- パイロット

- QRコード
- GS1データマトリックス
- その他

- オープンな環境
- クローズな環境

